



八千人結集

伊方再稼働NO!

原発再稼働、原発輸出
まっしぐらの安倍政権が
再稼働の突破口に狙って
いるのが伊方原発（愛媛
県伊方町）。

十二月一日、松山市で
「伊方原発をとめる会」
主催で集会とデモが行な

われ国内外から八千人が
参加。秘密保護法阻止と
反原発の闘いが大きく盛
り上がった日でした。

集会で訴えた鎌田慧さ
んの報告をご紹介します。

☆ — ☆ — ☆

鎌田 慧

日曜日。氷雨の下での
デモだった。松山市での
伊方原発再稼働反対集会
に参加した。「ボクもフ
クシマの避難民」という
元宇宙飛行士の秋山豊寛
さんのシイタケ栽培は、
原発事故で全滅した。彼
と並んで歩いて「再稼働
反対!」の声を上げた。
デモの叫びもテロルと
言い切った石破茂自民党

幹事長の発言は、権力者
の過剰な恐怖心を見せつ
けたが、その日の集会で
も特定秘密保護法案を批
判する声が多かった。

原発と防衛とを秘密と
厳罰で結ぶ法案があらわ
れた。兵器工場で働くひ
とはいまでも「適正評価」
を受け、「防衛機密」で

口を封じられている。原
発とその関連産業で働く
人も、身辺を調査されて
いる。それがさらに周辺
に拡大される。

日を追って、秘密保護
法案にたいする市民の怒
りが強まっている。私た
ちは戦前の社会を支配し
た特高警察や憲兵隊の監
視の目を伝えてこなかっ

た。いま、その暗黒時代
に戻ろうとしている。

この前世紀的な悪法を
「問答無用」とばかり、
また強行採決しようとし
ているのが、「自由民主、
公明」を党名にしている
傲慢与党である。

自由民主、公明を騙
（かた）って恥ずかしく
ないのか。「抑圧、独裁、
暗愚」とその名を変えた
らしい。やがて五年もす
れば、この「民主主義抑
圧法」または「言論弾圧
法」に賛成した議員たち
は、歴史に裁かれる。そ
れは必定だ。

（十二月三日東京新聞・
本音の「ラムよ」）